資料

吉川市の環境

（環境施策の概要）

－目　次－

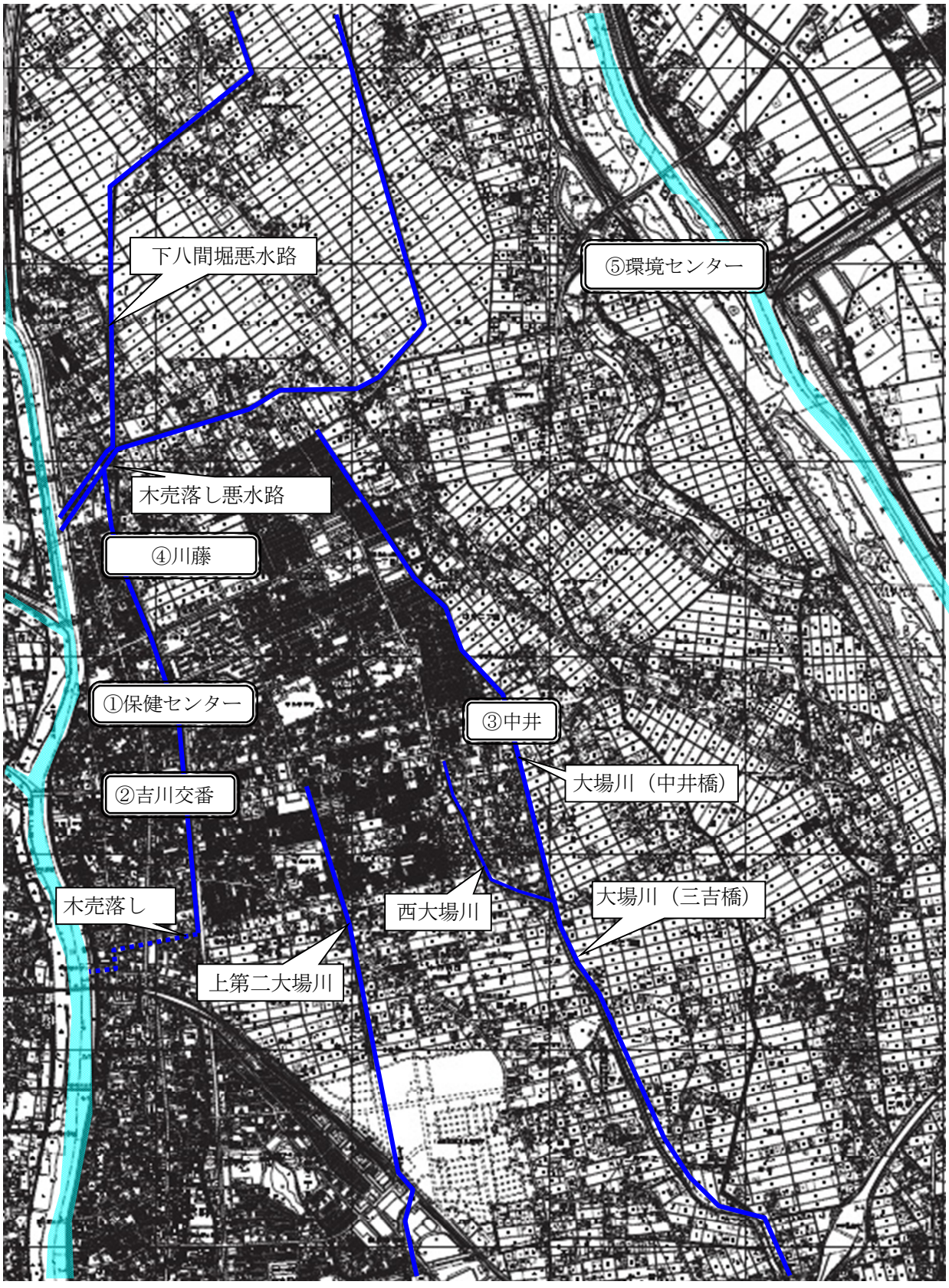
１　公害対策に関すること･･ **1**
（１）環境測定の結果･･ 1
　ア 小河川水質調査結果･･ 2
　イ 大気中の二酸化窒素濃度測定結果････････････････････････････ 3
　ウ 空間放射線量の測定結果････････････････････････････････････ 3
　エ 自動車騒音常時監視測定結果････････････････････････････････ 5
（２）公害相談の状況･･ 6
（３）浄化槽設置補助事業･･ 6
（４）環境保全協定事業･･ 7
２　環境保全に関すること･･ **8**
（１）住宅用太陽光発電設備等設置促進事業････････････････････････ 8
（２）特定外来生物対策･･ 8
（３）環境啓発事業の実績･･ 10
　ア 自然観察会･･ 10
　イ 環境学習教室･･ 10
　ウ その他の事業･･ 10
３　環境行動計画･･ **別紙**

令和７年１１月

1　公害対策に関すること

（１）環境測定の結果

－　図１　環境測定調査地点図　－



ア 小河川水質調査結果

（ア）調査地点　７地点（図１参照）

・木売落し　　・上第二大場川　　・西大場川　　・木売落し悪水路

・下八間堀悪水路　・大場川（三吉橋）　・大場川（中井橋）

（イ）測定項目

測定項目	説明
水素イオン濃度指数（ｐＨ）	水の酸性とアルカリ性の度合いを示す指標で、中性の水はpH7、7より小さいものは酸性、7より大きいものはアルカリ性となる。
生物化学的酸素要求量（ＢＯＤ）	水中の比較的分解されやすい有機物が､溶存酸素の存在のもとに好気性微生物によって酸化分解されるときに消費される酸素の量で、水質汚濁を示す代表的な指標である。水の有機物汚染が進むほど、その値は大きくなる。
溶存酸素（ＤＯ）	水中に溶解している酸素ガスのことで､河川等の自浄作用や水生生物の生活に不可欠なものである。DOは一般に、魚介類が生存するためには、3mg/L以上が必要であり、良好な状態を保つためには、5mg/L以上であることが望ましいとされている。
浮遊物質（ＳＳ）	水中に浮遊している直径2mm以下の不溶解性物質のことで、工場排水等の由来する有機物や､動植物のプランクトンやその死骸などが含まれる。

（ウ）　調査結果

河川汚染状況の代表的な指標とされているＢＯＤ及びＤＯの結果は表１のとおりとなります。

－　表１　小河川水質調査結果（ＢＯＤ及びＤＯ）　－　単位　ｍｇ／ℓ

	①大場川（中井橋）		②大場川（三吉橋）		③西大場川		④木売落悪水路		⑤木売落し		⑥下八間堀悪水路		⑦上第二大場川	
	BOD	DO	BOD	DO	BOD	DO	BOD	DO	BOD	DO	BOD	DO	BOD	DO
R6	2.6	6.4	2.2	6.9	6.7	6.9	1.6	7.3	2.0	6.1	1.6	6.6	5.5	8.3
R5	2.0	6.8	2.0	7.1	2.7	9.7	2.2	6.8	2.2	5.5	2.5	8.8	3.9	8.9
R4	1.7	6.1	2.3	6.4	3.1	7.1	1.5	7.9	1.6	7.1	1.9	8.0	3.9	7.1
R3	4.0	7.0	4.8	9.4	4.0	9.4	1.8	7.9	1.7	7.5	2.0	8.2	4.0	12
R2	3.1	5.7	4.5	7.0	4.0	7.9	2.8	6.1	2.0	5.0	3.3	7.6	4.7	6.3

【環境基準】　環境基準は、各公共用水域に類型が指定されているものであるが、調査地点はいずれも類型指定されていない。各調査河川の流入先である中川はＣ類型であるため、その環境基準を準用する。

	ｐＨ	ＢＯＤ	ＤＯ	ＳＳ
Ｃ類型の環境基準値	６．５～８．５	５ｍｇ／Ｌ以下	５ｍｇ／Ｌ以上	５０ｍｇ／Ｌ以下

イ 大気中の二酸化窒素濃度測定結果

※二酸化窒素

物の燃焼により発生した一酸化窒素が大気中で酸化されて二酸化窒素に変化したものであり、自動車排気ガスなどによる大気汚染状況を示す項目として用いられている。

※環境基準

１時間値の１日平均が０．０４ｐｐｍから０．０６ｐｐｍまでのゾーン内、またはそれ以下であること。

（ア） 調査地点 ５地点（図１参照）

① 保健センター（県道葛飾・吉川・松伏線）

② 吉川交番（県道葛飾・吉川・松伏線と県道越谷・流山線の交差点）

③ 中井[アクアパーク付近]（越谷・吉川線）

④ 川藤（県道川藤・野田線）

⑤ 環境センター（県道川藤・野田線、県道三郷・松伏線）

（イ）測定項目

二酸化窒素濃度（ＴＥＡプレート法）

（ウ）調査結果

二酸化窒素濃度の測定結果は表２のとおりとなります。

－ 表２ 二酸化窒素濃度測定結果 － 単位 ｐｐｍ

年度 / 調査場所	R2	R3	R4	R5	R6
①保健センター	0.0099	0.0095	0.0087	0.0088	0.0079
②吉川交番	0.0163	0.0152	0.0153	0.0150	0.0134
③中井	0.0091	0.0087	0.0082	0.0082	0.0084
④川藤	0.0114	0.0101	0.0098	0.0102	0.0093
⑤環境センター	0.0125	0.0106	0.0107	0.0103	0.0071

ウ 空間放射線量の測定結果

（ア）調査地点

２５か所（測定高：地上５０㎝）

（イ）調査結果

市基準：地上５０㎝で０．１９μSv/ｈ

国基準：地上１００㎝で０．２３μSv/ｈ

空間放射線量の測定結果は表３のとおりとなります。

－　表３　空間放射線量の測定結果　－　単位　μSv/h

	H23 年度 （除染作業後）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
中央中学校	0.10	0.09	0.09	0.10	0.10
北谷小学校	0.07	0.13	0.13	0.13	0.12
三輪野江小学校	0.12	0.10	0.10	0.09	0.09
吉川小学校	0.16	0.08	0.08	0.09	0.08
南中学校	0.07	0.09	0.09	0.10	0.09
栄小学校	0.09	0.09	0.10	0.10	0.10
関小学校	0.17	0.10	0.10	0.11	0.10
中曽根小学校	0.13	0.10	0.09	0.10	0.11
東中学校	0.18	0.08	0.09	0.09	0.08
美南小学校	0.09	0.08	0.08	0.08	0.08
第２保育所	0.16	0.04	0.04	0.04	0.04
青葉保育園	0.11	0.11	0.09	0.10	0.10
育暎保育園	0.17	0.09	0.08	0.09	0.09
旧第３保育所	0.12	0.08	0.09	0.08	0.08
つばさ保育園	0.15	0.09	0.10	0.09	0.09
美南中央公園	0.07	0.09	0.08	0.08	0.08
上組中組児童広場	0.13	0.10	0.09	0.10	0.10
きよみ野第３公園	0.14	0.07	0.06	0.07	0.05
沼辺公園	0.11	0.07	0.08	0.07	0.08
中島児童広場	0.10	0.10	0.09	0.08	0.08
兵庫児童広場	0.10	0.07	0.07	0.08	0.07
加藤児童広場	0.12	0.07	0.12	0.08	0.12
道庭緑地	0.10	0.07	0.07	0.07	0.09
ネオポリス第３公園	－	0.07	0.08	0.07	0.08
環境センター	0.17	0.07	0.10	0.12	0.09

（測定結果は最大値を記載）

エ 自動車騒音常時監視測定結果

（ア）調査地点

路線名	起点側	終点側	区 間 延 長
越谷流山線１	大字保	大字三輪野江	3.6 ㎞
越谷流山線２	大字平沼	大字保	0.6 ㎞
越谷野田線	上内川	上内川	0.8㎞

（イ）調査日

令和７年２月４日～２月５日

（ウ）調査結果

自動車騒音常時監視の測定結果は表４のとおりとなります。

－ 表４ 自動車騒音常時監視測定結果 －

路線名	基準点騒音レベル（L_{Aeq}）	
	昼間	夜間
環境基準	７０	６５
要請限度	７５	７０
越谷流山線１	６７	６１
越谷流山線２	６９	６９
越谷野田線	６７	６６

また、本年度対象区間環境基準の達成状況については、表５のとおりとなります。

－ 表５ 対象区間の面的評価結果 －

	昼夜ともに基準値以下		昼のみ基準値以下		夜のみ基準値以下		昼夜ともに基準値超過	
	戸数	割合%	戸数	割合%	戸数	割合%	戸数	割合%
全戸数（1006 戸）	978	97.2	26	2.6	0	0	2	0.2
近接空間（338 戸）	313	92.6	25	7.4	0	0	0	0
非近接空間（668 戸）	665	99.6	1	0.1	0	0	2	0.3

（２）公害相談の状況

－　表６　７大公害相談受付件数　－

	令和５年度分			過年度分			翌年繰越
	受付	処理済	翌年繰越	前年繰越	処理済	翌年繰越	合計
大気汚染	0	0	0	0	0	0	0
水質汚染	0	0	0	0	0	0	0
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0
騒音	19	19	0	2	1	1	1
振動	5	5	0	0	0	0	0
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0
悪臭	2	2	0	0	0	0	0
計	26	26	0	2	1	1	1

－　表７　その他相談受付件数　－

	R5	R6	主な内容
獣害	43	77	アライグマによる被害相談など
鳥害	1	0	
虫害	1	7	ハチ、クビアカツヤカミキリ、セアカゴケグモなど
犬関係	6	4	鳴き声や糞害相談など
猫関係	3	1	野良猫へのエサやり行為
空閑地雑草	36	35	空閑地の雑草繁茂
その他	6	2	水質汚濁、粉塵
計	96	126	

（３）浄化槽設置補助事業

ア 概要

河川等の水質汚濁防止のため、下水道許可区域及び農業集落排水施設区域外の一般住宅に設置されている単独処理浄化槽及び汲み取り式便槽から合併処理浄化槽へ転換しようとする者に対し、国や県の補助金を活用した補助金を交付することにより、合併処理浄化槽の普及促進を図る。

イ 補助実績

－　表８　浄化槽設置補助実績　－

	5 人槽		7 人槽		10 人槽		合計	
	基	金額	基	金額	基	金額	基	金額
R6 年度	0	0 円	5	3,560,000 円	0	0 円	5	3,560,000 円
R5 年度	19	12,198,000 円	8	5,732,000 円	1	858,000 円	28	18,788,000 円
R4 年度	15	9,630,000 円	16	11,584,000 円	0	0 円	31	21,214,000 円
R3 年度	16	10,272,000 円	13	9,412,000 円	3	2,574,000 円	32	22,258,000 円
R2 年度	3	1,926,000 円	11	7,964,000 円	0	0 円	14	9,890,000 円

（4）環境保全協定事業

ア 概要

産業廃棄物処理業、産業廃棄物処理施設の設置を行う事業及び製造業を営む事業を実施しようとする者（環境配慮事業者）が、環境に配慮した事業運営を行うことについて市と協定を締結し、市民の生活環境の保全を図る。

イ 環境保全協定締結事業者

－ 表９ 環境保全協定締結事業者一覧表 －

No.	事業所名	所在地	締結日※	事業内容
1	（株）ヤマ・エンタープライズ	中井 68-1	H14.7.5	産業廃棄物中間処理
2	昭和ロール（株）	栄町 856	H15.12.25	金属加工業
3	新和環境（株）	小松川 567-1 他	H16.3.23	産業廃棄物中間処理
4	わらべや日洋食品（株）	南広島 442-1	H17.11.28	食料品製造業
5	飯島鋼管（株）	上内川 1157 他	H18.5.11	金属加工業
6	武蔵野産業（株）	川藤 3664-1 他	H18.7.31	産業廃棄物中間処理
7	（株）栄進	中野 372-1 他	H20.2.19	産業廃棄物中間処理
8	吉野電化工業（株）	旭 1-2	H20.5.20	製造業
9	東武商事（株）	旭 3-1	H20.9.8	産業廃棄物中間処理
10	（株）オオマツ興業	小松川 585-2	H21.3.6	産業廃棄物中間処理
11	木幡興業（株）	中井 56-1 他	H22.1.20	産業廃棄物中間処理
12	（株）サティス製薬	中井 57-1 他	H22.11.15	製造業
13	ＡＷ・ウォーター（株）	旭 8-2	H22.11.15	製造業
14	（株）キツタカ	中井 61-3	H23.11.10	産業廃棄物中間処理
15	（株）吉川スクールランチサービス	川藤 3265-1 他	H28.3.31	製造業
16	合同会社エコプラント	関新田 1103-1 他	H28.6.30	産業廃棄物中間処理
17	コトブキ環境（株）	中井 35-1	R2.5.21	産業廃棄物中間処理
18	（株）ビバクリーン	三輪野江 2380-1	R2.9.30	産業廃棄物中間処理
19	（株）冨田工業	上笹塚 1652-1	R2.11.12	製造業
20	（株）東建産業	中井 47-1 他	R5.4.14	産業廃棄物中間処理
21	（株）三光サービス	中野 375-1 他	R6.11.15	産業廃棄物収集運搬業
22	（株）アヤベ洋菓子	高久字町田412番地他	R7.2.19	製造業

※締結日は最初の締結日、追加で締結した分は含めていない。

ウ 主な協定内容

周辺環境の保全確保と周辺住民との良好関係の維持

（公害の防止、公害苦情相談、測定や調査、事故時の措置、交通関係、資源やエネルギー、廃棄物対策、緑化や緑地保全など）

2　環境保全に関すること

（1）住宅用太陽光発電設備等設置促進事業

ア 概要

住宅用太陽光発電設備及び蓄電池の設置促進により、再生可能エネルギーの普及を図るとともに、温室効果ガス（CO_2 等）排出量を削減する。

イ 補助実績

－ 表１０ 住宅用太陽光発電設備等設置補助実績 －

年度	パネルのみ				蓄電池のみ		パネル＋蓄電池		合計	
	4kW 未満		4kW 以上							
	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額
R2	4	120,000	15	600,000	－	－	－	－	19	720,000
R3	11	330,000	19	760,000	－	－	－	－	30	1,090,000
R4	1	30,000	5	200,000	10	500,000	15	1,500,000	31	2,230,000
R5	0	0	4	160,000	27	1,350,000	27	2,700,000	58	4,210,000
R6	1	30,000	3	120,000	17	850,000	25	2,500,000	46	3,500,000

（2）特定外来生物対策

ア 概要

生態系、人の生命・身体、農林水産業への悪影響を与える特定外来生物による被害を防止する。

イ 対策

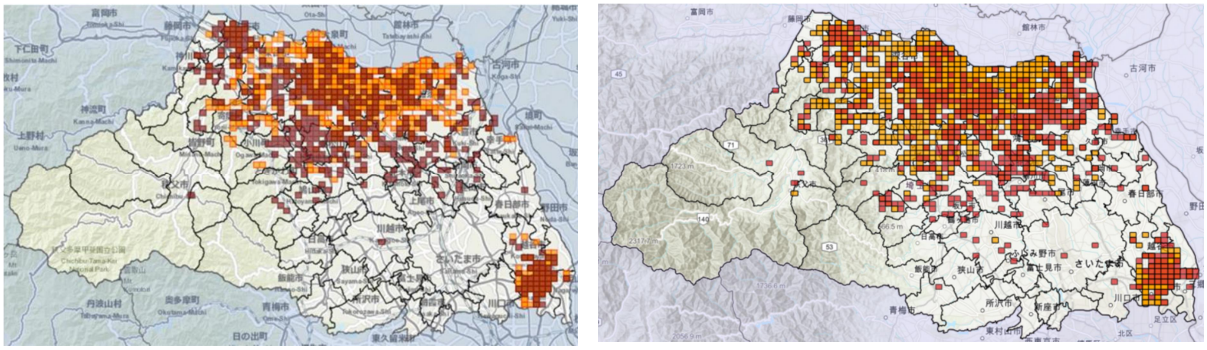
（ア）クビアカツヤカミキリ

a 概要

主にバラ科の樹木に寄生し、幼虫が木の内部を摂食し、その被害が進行すると寄生された木が弱り、枯死する。

b 被害状況

県内において平成 25 年に草加市と八潮市においてサクラの被害が初めて確認され、吉川市においては、平成 31 年に初めて被害が確認された。



左）令和５年度

右）令和６年度　までのクビアカツヤカミキリ発見箇所（埼玉県環境科学国際センターＨＰより）

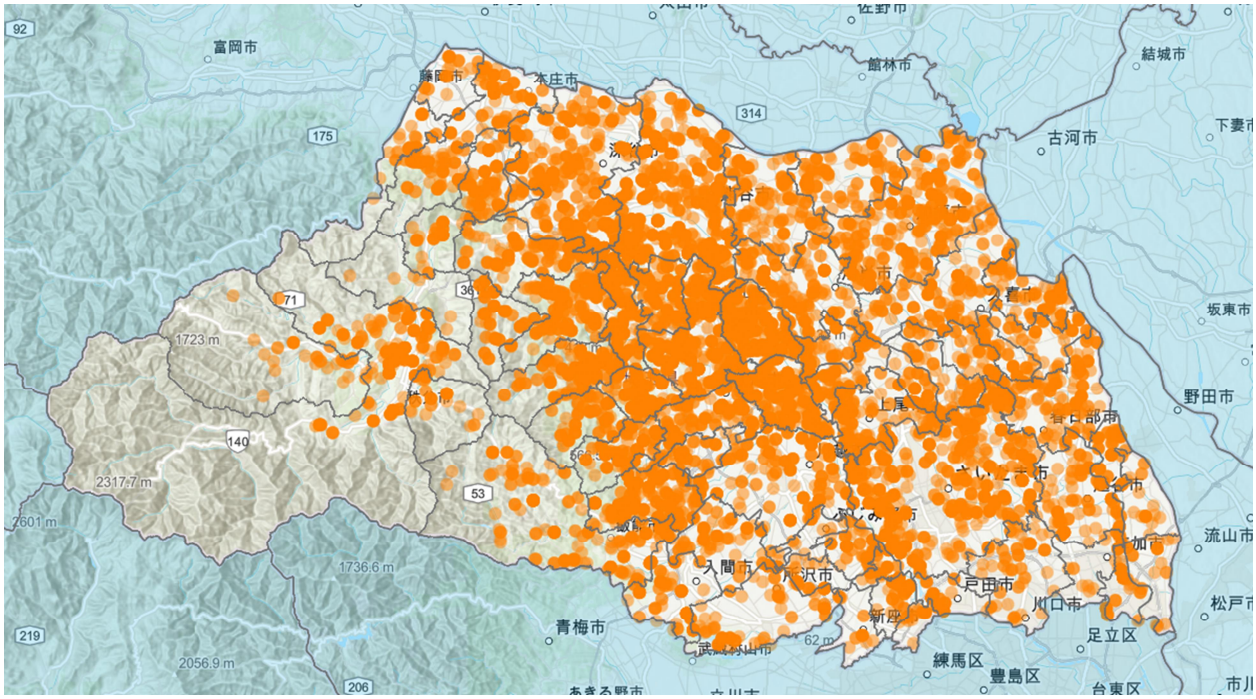
（イ）アライグマ

a　概要

天敵がなく、雑食性で強い繁殖力を持ったアライグマにより、農作物の被害や人家に住みつくなどの被害が拡大している。市では埼玉県アライグマ防除実施計画に基づき、被害相談のあった人家等の敷地に箱わなを設置し、アライグマの駆除を行っている。

b　被害状況

県内においては、平成 18 年度から被害が急激に増加し、吉川市内においても平成 25 年度に初めて捕獲されて以降、年々捕獲頭数が増加傾向にある。



埼玉県ホームページ「アライグマ捕獲地点マップ」より

c　箱罠設置・捕獲実績

－　表１１　箱罠設置・捕獲実績　－

	設置数	捕獲実績			
		アライグマ	タヌキ	ハクビシン	捕獲なし
R3	22	10	2	0	10
R4	44	16	0	0	29
R5	42	13	0	0	32
R6	69	20	0	0	55
R7	49	14	0	0	41

※R7 年度は 10 月 29 日時点

※設置数と実績の合計の差は複数を同時に捕獲したことによる。

（ウ）セアカゴケグモ

a 概要

メスは毒を持っているが、攻撃性のないおとなしいクモ。令和６年１０月に初めて市内で発見され、駆除している。令和７年度に複数の箇所で発見の報告あるが、被害の報告は受けていない。

（３）環境啓発事業の実績

ア 自然観察会

（ア）概要

市民が自然環境を把握し、自然保護の意識を高めることを目的として、動植物に精通した講師とともに、市内各地の自然を観察し、質疑応答をおこなう。

（イ）令和６年度開催実績

－ 表１２ 令和６年度開催実績 －

開催日	会場	参加者
R6.8.3	吉川運動公園	28 名

イ 環境学習教室

（ア）概要

市民の環境配慮意識の醸成を図るため、市民団体や企業の協力の下、学習の場を提供する。

令和３年度より、埼玉県「環境学習応援隊制度」を活用し、社会貢献活動の一環として企業が持つノウハウを生かした環境学習教室を実施した。

（イ）令和６年度開催実績

－ 表１３ 令和６年度開催実績 －

学校名	実施日	内容	参加人数
吉川小	6 月 10 日	海に流されるプラスチック（生活協同組合コープみらい）	85 名
旭小	10 月 21 日	通信と環境に関する学習(東日本電信電話㈱)	21 名
三輪野江小	11 月 8 日	エネルギーおよび環境問題（東京電力パワーグリッド㈱）	32 名
栄小	10 月 2 日	エネルギーおよび環境問題（東京電力パワーグリッド㈱）	98 名
中曽根小	12 月 13 日	環境問題とＳＤＧｓ（日本瓦斯㈱）	92 名
美南小	10 月 23 日	エネルギーおよび環境問題（東京電力パワーグリッド㈱）	233 名
教育センター	10 月 23 日	通信と環境に関する学習(東日本電信電話㈱)	12 名
【合計】			573 名

ウ その他の事業

（１）ミライ地球ガチャ＠よしかわ

日時	令和６年６月１０日（月）～令和６年６月１７日（月）
場所	吉川市役所１階コミュニティルーム
概要	国の環境月間に合わせ、身近な気候変動への適応策について考えるきっかけをつくることを目的として、学べる体験型イベントを実施するもの。ガチャガチャを回してそのお題に回答するイベント。
参加者数等	３７０名

（２）環境科学国際センター見学ツアー

日時	令和７年３月１５日（土）
場所	環境科学国際センター見学ツアー（加須市）
概要	講師に鳥博士の石川光夫氏を迎えて施設の見学を行うもの。
参加者数等	５名